

平成 26 年度「佐藤 達 先生と話そう」が開催されました。

平成 26 年 12 月 17 日(水)サトル・サトウ・アートミュージアム常設展示室にて、「佐藤 達 先生と話そう」が開催されました。これは、本年度の夏に開催しました「サトル・サトウ・アート出前講座」を受講された学校の児童を対象に、講師でありました佐藤 達先生とスカイプを使用してビデオ通話でお互いの近況等を交えながらお話しするものです。

東郷小学校 6 年生 2 名、宝江小学校 5 年生 2 名、石森小学校 2 年生 2 名、上沼小学校 2 年生 15 名の参加でした。

児童からは、「パリの夜空はきれいですか?」「フランスの服はどのような服ですか?」「フランス語を教えてください」など、フランスの文化に関する質問がありました。

また、児童からは、芸術を生み出す為の本質的な質問も投げかけられました。

児童「どうやって芸術作品を描くのですか」

佐藤達先生「これがいいなと思うものを描いて、アイデアがあるといつもノートに描くようにしています」

児童「作品をつくるときに大切なことはありますか」

佐藤達先生「真似をしないでつくることと、人が誰がつくったものはつくらない。やっぱり自分がこれだというものを大事に見つけて、それから取りかかる。」

児童「なぜ絵が上手いのですか?」

佐藤達先生「ずっと描いているから。ずっと描いているとうまくなる。はじめからうまく描けないので、長くやっているとだんだんうまくなる。」

また、児童たちは、スカイプを通じた映像で先生の自宅の天窓から見える夜明け前の空や、佐藤達先生のアトリ工の様子、そこにある道具など興味深く観ていました。

